

明治六年酉九月十一日 二十八歳

徳法院三蒼秀山信士

芝増上寺山内月界院二葬

見立けさ御前

坂東三津五郎

一ツの座を

すてゝけさより

蓮乃座に

かかる

すかたや

法の花みち

二世

梅玉